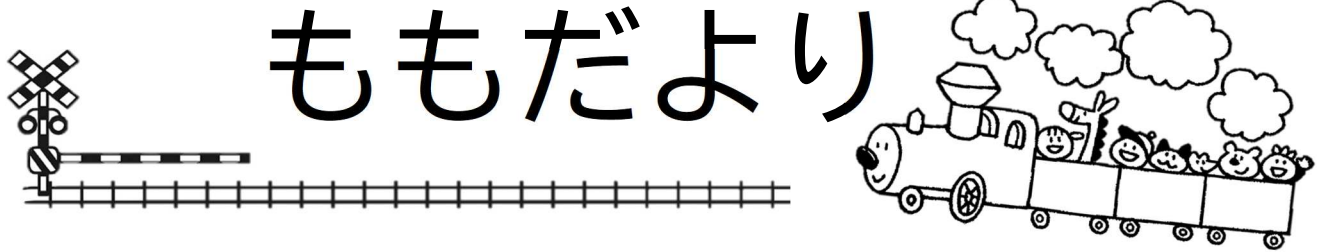


羽島市発達支援センター



令和7年1月23日（木）に保護者向けの講演会・交流会を行いました。

講師として、正木小学校 浅野由香教頭先生をお迎えし、「子どもの姿から学ぶこと」をテーマにお話いただきました。参加者は18名、講演会の後はグループに分かれての交流会、活発な情報交換で盛り上がりました。当日の資料を希望される方は、職員までお声掛けください。

来年度も開催を予定していますので、ぜひご参加ください。



講演会・交流会の感想を一部紹介します



- ・子どもをよく観察して思いに気づいてあげることの大切さを改めて考えることができた
- ・説明がわかりやすく、寄り添ってもらうことができて心が軽くなった
- ・同じような子育てをしている方たちとお話ししたり、情報交流ができてうれしかった
- ・同じくらいの年齢のお子さんを持つお母さんといろいろ共感ができ、とてもいい機会になったし、気持ちが楽になった
- ・いろんな子どもがいる中で、一人一人にあった支援が大切だと分かった
- ・苦手なことを克服するより、好きなことを伸ばしていこうという前向きな気持ちになっていきたいと思った
- ・何かいけない行動をすると、頭ごなしに叱ってしまいがちだけど、「必ず行動には意味がある」を頭に入れて、ちゃんと話を聞いて受け止めてあげられる子育て、保育をしたいと思った
- ・思いを言葉にして伝えてあげることが少ないので、これからたくさん伝えてあげたいと思った
- ・子育てはうまくいかないことばかりだけど、いろいろ試しながらその子にとってどんなかわりがあるのかを考え、大事にしていきたい
- ・講演会を聞いて、子どもとの向き合い方を再確認したり、小学校に入るとどんなことをするのか知ることができた
- ・今の教育にはいろいろな選択肢があるということがわかり、これから先の不安が少し消えた
- ・幼稚園と小学校とで生活がガラッと変わり、心配なことがたくさんあるが、サポートしていきたいし、周りに頼ったり、相談したい
- ・学校の先生方も、子どもたちのことを考え見守ってもらえるのだと思うと、一人じゃない、頼れるところはたくさんあるという気持ちになり、救われた
- ・勉強も大事だけど、支援を受けることで生きていく力、人とうまくやっていく力を身に付けていくことが大切だと改めて感じた

